

種別	工種	事例名	シート番号
その他	電気	金属ボックス固定ビスとケーブルとの接触による漏電	5-10

不具合事例・状況

- ・キュービクル内の漏電警報が発生した。
調査の結果、倉庫換気ファン用スイッチボックスで漏電(7A)していることが判明した。

- * 絶縁抵抗測定の結果は、0Ω(完全に絶縁が取れていない状態)であった。



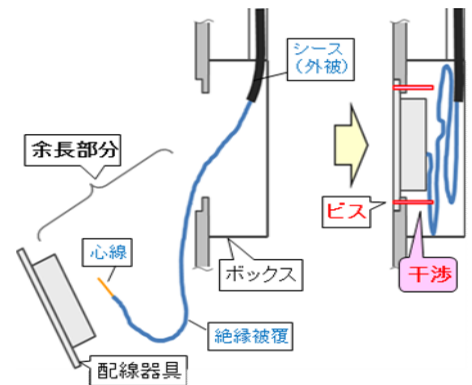
<ボックス内ケーブル 概要>



<ケーブル絶縁被覆の傷状況>

原因

- ・配線器具をボックス内に収める際、以下の理由で、取付けに使用したビスによってケーブルの絶縁被覆に傷がついた(推測)。
- ①ビスとケーブルが干渉する位置にあった。
 - ②ケーブルの余長が長すぎた。
 - ③ケーブルのくせとり(ケーブルの形状を整える)が不十分であり、ビスとケーブルの接触後もケーブルに強い力が掛かり続けた。



<配線器具取付概要>

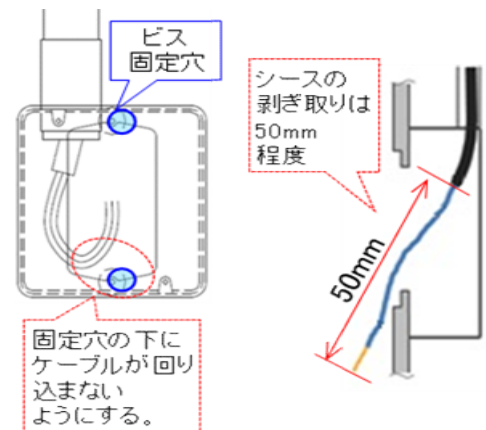
対処方法

- ・ケーブル余長を利用して、不具合箇所のケーブルを切断し、再接続した。

再発防止対策

- ・ケーブルをボックス内に収める際は以下留意事項を施工要領書に明記するとともに、その内容を周知・徹底する。

- ①ビスの固定穴の下部にケーブルが回り込まないようにする。
- ②ケーブルの余長は、長くなり過ぎないようにする。
- ③余分なシース(外被)部を剥ぎ取ってくせを取る。
剥ぎ取りの目安は50mm



備考	参考文献 :	制定	2023年3月1日
	参考メーカー:	改訂	